

# 聖愛

五月号  
原町聖愛保育園

二〇〇七年五月一日 発行

若葉の緑が目にも優しく、私たちの心まで包んでくれるような気がします。これからは、戸外で過ごすのが気持ちの良い季節です。子どもたちは園庭で遊ぶことを好んで、友だちと一緒に好きな遊びを楽しんでいます。

## ルールとマナー

保育園では毎年、つき・ほし組の子どもを対象に、交通安全教室を開催しています。実際に車を走らせて、子どもの飛び出しの危険性や走って来る車と自分の位置との安全な距離、トラックの巻き込み事故の様子などを見せてもらいます。交通ルールを守ることが大事であるという話をきいて、子どもたちは守ることを約束し、覚えて実行しながら身につけていきます。社会には様々なルール(規定・規則・法則)があり、それらが守られることで自分が守られ、自身も守らなければ罰せられる(こともある)ものです。

ルールと混同されるマナー(行儀・態度)は、守らなくても罰せられることはありませんが、社会生活をする上でみんなが良識を持って守ることで、互いに不快な思いや不都合が生じなくて、快適な生活をする事ができます。マナーを守ることは個人の意識に委ねられています。空き缶やタバコのポイ捨て。スーパーで見かける、支払をする前に封を開けて、子どもにもものを食べさせる行為。公共の場での身勝手な振る舞い。これらは極々一例です。たとえマナーが悪いと言われ(思われ)ても、罰則はなく、良識や品性を問われるだけなので、自分さえよければいいでいいのでしょうか。

数年前ある保護者の方と、保育園の決まりをお知らせし、話し合っているときに、「うち(私)はいいですから」という言葉が繰り返されて、園の決まりも子どものことも、それは、私にとつて都合がいいか悪いかでしか考えていない、と思わされたことがあります。保育園は小さな社会です。そこには約束事があり、それを守るのは子どもも大人も同じです。

「手本は説法にまざる」。ルールもマナーもまずは大人が気をつけて守りたいものです。子どもは傍で、一部始終を見聞きしています。園長 遠藤美保子

5月の保育目標 主題 0,1,2歳児「何しようかな」

3,4,5歳児 「みつけた」


暗唱聖句：光の子として歩みなさい。

エフェソ5章8節

クラス	保育目標	保育内容	保育者の援助
てんし 0歳児	保育者と一緒に触れ合って、心地よく過ごす	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝返りや腹ばい、ハイハイや伝い歩き</li> <li>保育者と一緒に触れ合い遊びや歌遊び</li> <li>デッキや卓の上で外気浴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発達に合った動きや遊びに誘い、個々の発達を促す。</li> <li>子どもの表情や動き、声かけの反応等気を止めながら、一人ひとりの体調や生活リズムを把握し、安定して生活が出来るようにする。</li> </ul>
つぼみ 1歳児	外で体を動かし気持ちよく過ごす	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩(歩く、草花に触れて探索)</li> <li>かけっこ(目的地を決めて)</li> <li>かくれんぼ(保育者を見つける)</li> <li>布を使って(くぐる、捕まえる)</li> <li>牛乳パック積み木</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外遊びでは保育者がリードしてやって見せて、子どもが「何だろうやりたい」という思いが出るようにする。</li> <li>歩くことを意識しながら、自然の草花に触れたり、探索したり、外で遊ぶ面白さを感じられるよう遊びの場や機会の提供を工夫する。</li> </ul>
はな 2歳児	身近な動植物に関心を示し、実際に触れ、感触や不思議さを感じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽やピアノに合わせて、体を動かす                             <ul style="list-style-type: none"> <li>尻尾取り</li> </ul> </li> <li>ままごと遊び                             <ul style="list-style-type: none"> <li>虫探し</li> </ul> </li> <li>かくれんぼ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>散歩</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動植物や虫などに触れる機会を作り、一緒に見たり触ったりして、おもしろさを共有する。</li> <li>保育者との遊びのやりとりを楽しみ、また遊びたいという気持ちになるような関わりを配慮する。</li> </ul>
ファミリ 3歳児 4歳児 5歳児	自分の好きな遊びを見つけ、やってみる。	<室内> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンテ ※1</li> <li>押し花(5歳児)</li> <li>にじみ絵(画用紙)(4・5歳児)</li> <li>人物画(4歳児) ※2</li> <li>クレヨン画(全員) ※3</li> <li>野菜の苗植え</li> </ul>	※3 腕を大きく動かして、伸び伸びと描けるように環境を設定する。また、自由に発想したものに助言しながら、共有できるようにする。 ※6 子どもの様子や状態を見て無理なく行えるようにし、経験を通して「やりたい」という気持ちを引き出せるように誘い掛けをする。
	保育者や友だちと一緒に色々なものに興味関心を持ち、楽しむ	<戸外> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩く(大股、小股、ギャロップスキップ、後ろ歩き)</li> <li>サーキット遊び</li> <li>綱引き</li> <li>鉄棒、登り棒(5歳児) ※4</li> <li>鬼ごっこ(4歳児) ※5</li> <li>太鼓橋を登る(3歳児) ※6</li> </ul>	※2 身近な人の顔を表現する喜びを感じられるように、時間の配分や題材の提供に配慮し、進める。 ※5 保育者も一緒に遊びに加わり、遊びのルールを伝え、友だちと一緒に遊ぶ面白さや楽しさが感じられるよう関わる。
	周りの友だちや様子に興味を持って、遊びに関わり、感じ、過ごす		※1 コンテやにじみ絵(画用紙)は色の広がりや混色の面白さ、色の美しさを十分に感じられるように保育者と一緒に楽しむ。 ※4 体の部位をどのように動かしたら登れたり、渡りきれるか、友達の様子を見たり、真似したりコツを保育者とつかみながら、上達する面白さが味わえるようにする。



◎ 5月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
2 (水)	子育てサークル (レインボーG)	職員会議
7 (月)	家庭訪問開始 ~ 31日	
8 (火)	合同礼拝 (つき・ほし) 野菜の苗植え (全クラス)	聖書研究「めぐみの会」
9 (水)	子育てサークル (グリーンさんG)	マネージャー会議
10 (木)	小人さんの音楽会	施設長部会
11 (金)	健康診断 (内科) 久米本先生来園	
15 (火)	しゃりん梅訪問 (ほし)	保育士部会
16 (水)	子育てサークル (レインボーG)	ケース会議
17 (木)	ポップコーン (クラブ活動)	
18 (金)	久米本先生来園	給食部会
22 (火)	避難訓練	聖書研究タラントの会
23 (水)	子育てサークル (グリーンさんG)	給食会議
24 (木)	小人さんの音楽会	
26 (土)	県 「親子触れ合い遊び」	
28 (月)	しゃりん梅訪問 (ほし) 愛情弁当の日	園内研修 構造化会議
29 (火)	ペンテコステ礼拝	県保育研究大会
31 (木)	ポップコーン (クラブ活動)	

【野菜苗植え・種蒔き】 5/8 (火) 全園児

—ねらい—

- ・作物の生長を通して、神様の与えて下さる自然の恵みを知り、感謝する。
- ・作物を育てることで、喜びを感じ、食への関心を高める。



植え付けから収穫まで世話を通して、野菜の生長を観察したり味わったりして、恵みを喜び神様に感謝します。

また、今年度は食育指導の一環としても、野菜栽培を行います。

※当日は長靴、汚れても良い服装を準備して下さい。



【健康診断を実施します】 11日 (金)

12:30~ (てんし、つぼみ、はな)  
13:00~ (ファミリークラス)

※結果は、実施後個別にお知らせいたします。

【毎月一回 避難訓練を実施しています】

火災や地震発生時の様々な状況を想定して行っています。叫びのときでも慌てず、安全に避難できるように、常に心構えをしておく必要があります。

今年度も、地域の方々の協力を得ての総合避難訓練や、保護者引渡し訓練などを予定しています。

なお、保育園開園時間内に災害が発生した場合の最終避難場所は、原町第二小学校になりますので、ご了承下さい。

【家庭訪問が始まります】

5月7日 (月) ~ 31日 (木)

対象: 全園児  
訪問者: クラス担任

ご協力をよろしくお願いたします。

【午睡用タオルの持ち帰り】

11日 (金) 25日 (金) に、持ち帰りますので、洗濯をお願いいたします。ほころびがある時には、繕って下さい。

【親子遊びと交流会】 主催: 福島県相双保健福祉事務所

大人も子どもも、全身を使って活動 (遊びや運動) することが少なくなっていないですか?

成長が著しい幼児期には、様々な活動を通して全身を刺激し、たくさん経験のさせることが大事です。全身を使ってダイナミックな遊びをするためには、大人の働きかけが必要です。

物を使わず、触れ合ったり、また身近にあるタオルや新聞紙、チラシなどを使ったりして、簡単にできる遊びもあります。

この事業は、H17年度から「子育て支援を進める県民運動」の一環として、5月の第4週を子育て週間、その初日を「子育ての日」とされています。

○実施日時: 5月26日 (土) 10:00~12:00

○会場: サンシャイン浪江

○参加費: 無料

※参加申し込み・問い合わせ先

・福島県相双保健福祉事務所 保健福祉グループ  
電話 0244-26-1134

・福島県相双保健福祉事務所 浪江支所  
電話 0240-34-3141



【生活リズムを大切に】

生活リズムは、目に見えるものではありませんが、体の調子を整えるだけでなく、情緒の安定を作り出す大切なものです。

大人の都合やその時々思いつきなどで、いつもと違うということが続くと、子どもはその事に、臨機応変に対応できる力がまだありませんので、結果情緒も不安定になってしまいます。

毎日やるべきことを同じように繰り返すことが、子どもにとっては精神的安定を得、基本的な生活習慣を身につけるための力を蓄えることになります。

早寝早起きをはじめ、三度の食事をしっかり食べるなど、規則正しい生活リズムを守るように心掛けましょう。

【感性を大切に】

日々の生活の中で子どもたちは、見る・触れる・聴く・味わう・嗅ぐ (五感) を通して、様々なことを感じ取っています。

特に、四季折々に触れる自然の中には、いろいろな発見や驚きがたくさんあり、子どもたちはその時、その瞬間の変化に気づきます。

園庭で遊んでいても、咲いている小さな花を見つけて、「いい匂いにするよ。きれいだね。」と花の色の美しさや匂い、育ちに関心を示して、顔を近づけて見ていました。

子どもの気づきが、大人の感覚ではささやかと思えることも、共感して感じたことを言葉にして、子どもに伝えることが大事です。



教会のヒイラギの木に、鳥が巣を作りました。これからどのようにしていくのか楽しみです。静かに見守ることを、子どもたちと決めました。

【ペンテコステ礼拝】 5/29 (火)

ペンテコステは「聖霊降臨日」といって、イースターから数えて50日目当たる日に祝われます。クリスマス、イースターに並ぶキリスト教の三大祭りの一つです。

聖霊 (神の大きく賢い力) が一人ひとりに降りました。神様のお言葉が人々に力強く語られ、人々が集められました。この時が「教会」の始まりとなったのです。

神様の大きな愛の力は、今も私たちの上に注がれています。

このことを喜び感謝して、ほし・つき組は教会の礼拝堂でペンテコステ礼拝を守ります。また、小さいクラスでもこの日を記念して、各クラスでお祝いの礼拝を守ります。

前日には、ペンテコステのシンボル “ハト” を型どったクッキーをファミリークラスの子どもたちが作ります。